

よねざわ工業(本社・恵庭)は、さっぽろ圏奨学金返還支援への登録とリファラル採用を導入し、人材確保に取り組んでいる。これまでに1人が入社。経験を高く評価し、即戦力として受け入れた。併せて、社員が安心して働けるよう事業継続計画(BCCP)を改定するなど、災害に対する備えを継続。よりよい企業を目指している。

さっぽろ圏奨学金返還支援は札幌市の事業。同社は6月に認定された。貸与型奨学金を利用した学生が認定企業に就職して札幌圏内に居住した場合、就職後2〜4年目に年間最大18万円を3年間支援する制度。学生には奨学金が返還され、

奨学金返還を支援 リファラル採用も

よねざわ工業 人材確保へ

同社にとっては新卒者を知る機会になっている。

4月には、社員が入社希望者を会社に紹介するリファラル採用も導入。社内で呼び掛けたところ、紹介があり5月7日に1人入社した。ブロック建築や鉄筋施工の1級技能士の資格を持つていて、経験が豊富なため、即戦力として採用を決めた。

社員が希望者を紹介することから、求人を募る広告媒体への費用が削減可能。会社のことを詳しく知ってもらえるためミスマッチ防止につながるという利点があり、米沢副社長は「他業種からの入社でも問題ない」と話す。

また、社員が安全に働け

る環境をつくるため18年度に策定したBCCPの第3版を6月30日に完成させた。災害発生時に本社と札幌支店に集まる社長や部長ら緊急参集者14人の役割を記載。BCCPに基づく安否確認訓練や消防訓練なども定期的に実施している。

続く第4版には、新型コロナウイルス感染症拡大を踏まえ、社内で感染者が出た場合の対応を加える考えだ。

こういった取り組みについて米沢副社長は「社員の命が最も大切。BCCPの策定や奨学金支援に取り組み、安心できる環境ということを採用時に伝えたい」と、今後も全社挙げて取り組む姿勢を示している。